

## 小野川左俣

一九七九年七月二十一日

登山日和の快晴である。今日は二パーティ沢に入る。

我々のパーティは小野川左俣を遡行し左側の無名沢の下降である。登山道をしばらく歩き途中より沢に降りる。

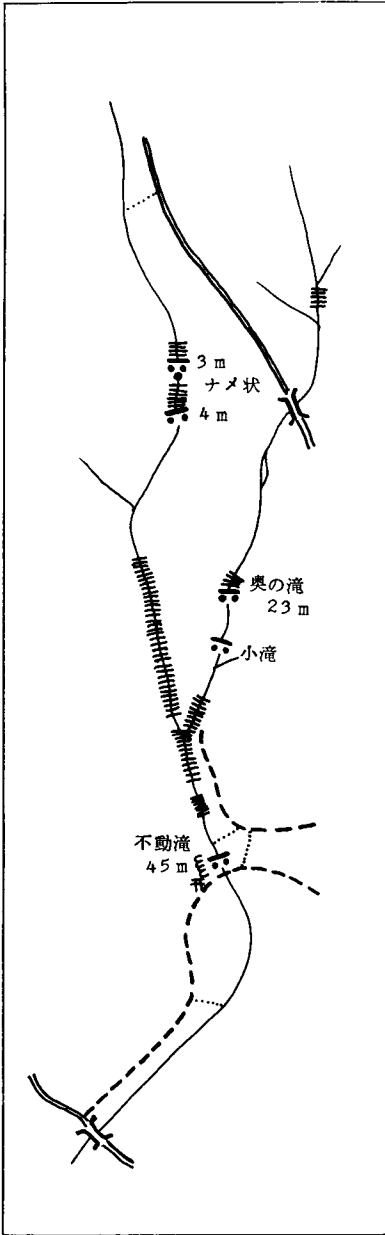
沢の冷たい水で顔を洗うと気持ちが引き締まる。コケが多くすべりやすいので注意して歩く。不動滝はこの沢唯一の滝といってもよいだろう。直登は不可能なので左岸

を捲くと登山道に出た。しばらく進んでから沢に降りる。あとはナメと小滝がしばらく続き、核心部を終わる。傾斜がなくなってきた所で遡行終了とし、右側の廃道にある。

〔タイム〕

出合五〇一五―不動滝五〇四五―二俣六〇一〇―沢終了七〇五五

(記・十 大)



小野川 (作図: 山崎 隆夫)